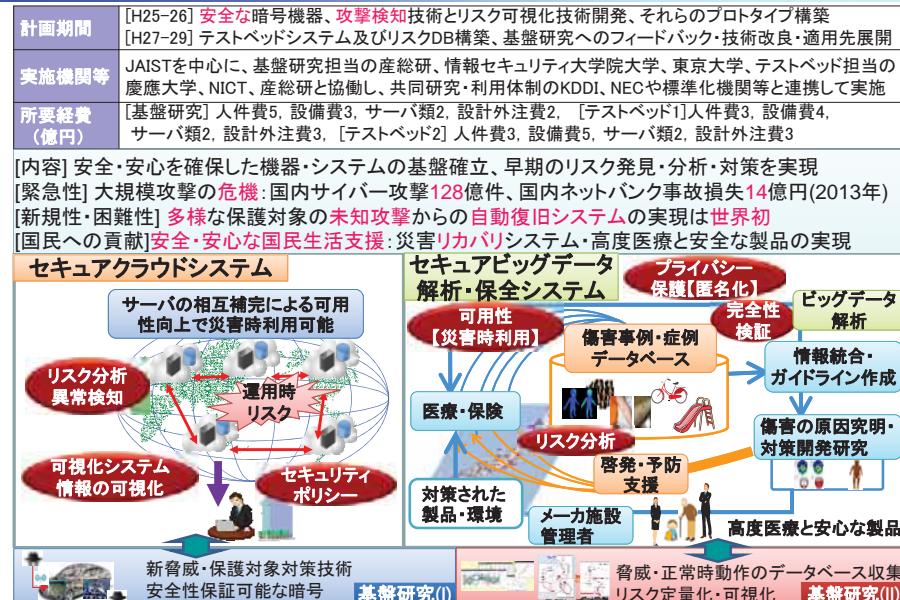


【情報学】新しいステージに向けた学術情報ネットワーク(SINET)

計画期間	SINET4:H23-27 (今回の計画範囲 平成26~32年度) SINET5:H28運用開始、H29SDN導入、H30-31SDN拡張、H32次期構築開始
実施機関等	国立情報学研究所が、大学等関係者を含む所内外の委員により構成された「学術情報ネットワーク運営・連携本部」と連携し実施
所要経費(億円)	・SINET4 325 ・SINET5 532 (SINETの運営(国内、国際)、学術情報クラウド基盤構築、SDN技術導入・開発等)
現在のSINET	
戦略的高性能化の必要性	<p>①世界最速の400Gbps/1Tbps回線の導入</p> <p>②多様化するニーズに応える新しい技術</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究の機動性を高めるオンデマンド技術 安全なインフラのためのセキュリティ技術 ビッグデータ時代に対応したクラウド技術 <p>③国際回線の高速化 (100Gbps × 3)</p> <p>④さらなる信頼性の向上</p>
緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ①通信性能、③国際接続性で他国より遅れる 様々な研究分野から高速化の要求が出ている
SINETは、	<p>①最高の通信性能、②セキュアで先端的な研究環境、③十分な国際接続性、 ④高安定性等、を提供することを目指し、開発・運用を計画している。</p>

【情報学】安全・安心社会を実現する情報システムのためのセキュリティ基盤



【情報学】アカデミック・ビッグデータ活用研究拠点の形成



【化学】新しい時代の科学技術立国を支える放射光科学の高輝度光源計画

